

令和7年2月12日（水）に開催した令和6年度第11回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議 案

（1）本学と浜松医科大学との領域横断活動に係る協定の締結について

ア 趣旨

事務局から、「現代の複雑化した社会において、科学、医療、芸術など複数の分野を横断して地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材育成」および「地域のウェルビーイング推進やユーザーフレンドリーな医療機器の開発など、多様な活動成果に向けた学際的研究、地域活性化、教職員・学生の交流等の促進」を目的とし、浜松医科大と領域横断活動に係る協定締結を行う旨、説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・これまでも浜松医大とはつながりがあった中で、今回協定締結に至った理由は、
→ここ2年間で複数の連携活動を行ってきた。今後も様々な可能性を発掘していきたいと考える中で、大学間での協定を結ぶことで、より活動がしやすくなるため。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（2）静岡文化芸術大学学則の一部改正について

ア 趣旨

事務局より、令和7年度から開始する新たなカリキュラムの実施に対応するため等の理由から、学則の一部を改定する旨、説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・これまでGPAが原因で留学できなかった事例はあるのか。
→学内の留学制度では3.0よりも低い基準を設けている。国の留学制度などでは3.0以上が設定されるケースがある。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（3）特任助手の採用について

ア 趣旨

事務局から、令和6年11月13日の役員会で承認されたデザイン学部特任助手（木材加工）公募の採用候補者を選考する面接を実施し、1名の候補者が決定したので、その採用について意見を求める旨、候補者の応募書類をもとに説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・面接を行ったが、謙虚な人柄でモチベーションも高かった。3年（再任2年、計5年間）の任期の中でぜひ能力を発揮してほしいと考えている。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（4）非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、「Japanese Cultural Studies」をはじめとする来年度の各種科目を担当する非常勤講師について、専任教員の欠員等の理由により、新たに計8名を委嘱したいとする旨、各候補者の経歴とともに説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・2名の方について、現職で民間企業に勤めているが、スケジュール、コマ数の確保など問題は

ないか。

→地元の企業として本学を応援いただいております、協力いただけることとなった。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 静岡文化芸術大学デザイン学部長の選任について

理事長から、令和7年4月1日から令和9年3月31日を任期とし、藤井尚子氏をデザイン学部長として選任（再任）した旨、経緯とともに説明があった。

(2) 令和7年度一般選抜の志願状況について

事務局から、令和7年度一般選抜の志願状況について報告があった。文化政策学部の後期試験の倍率が非常に高くなっている。

3 その他

本学で実施された遠州鉄道写真展、インド大使館からの図書寄贈の紹介があった。

以上